

○地域防災力の向上に資するソフト対策の区分

- ・住生活基本計画(令和3年度版)の取組による最低限の成果指標として導入。
- ・危険密集市街地におけるソフト対策を、①家庭単位で設備等を備える取組、②地域単位で防災機能の充実に資する取組、③地域防災力の実効性を高めるための取組の3つの区分に分類し、地方公共団体の判断によりソフト対策の実施の

ソフト対策の区分 ~ ごとに、
右記の内容を1つでも取り組んで
いればその区分は○

下線部の取組：大阪市が10街区全てで
実施している取組
点線部の取組：一部の街区で実施して
いる取組

ソフト対策の区分	ソフト対策の内容	
①家庭単位で設備等を備える取組	<u>感震ブレーカーの設置促進</u> <u>家具転倒防止器具の設置促進</u> <u>住宅用消火器の設置促進</u> 等	
②地域単位で防災機能の充実に資する取組	消防機能の充実	・ <u>消防水利の整備</u> ・ <u>街角消火器、可搬式ポンプ、防火バケツ等の設置</u> 等
	防災関連施設の充実	・ <u>防災備蓄倉庫の整備</u> ・ <u>耐震性貯水槽の整備</u> 等
	避難場所等の機能向上	・ <u>民地を活用した避難経路の確保</u> ・ <u>避難場所、避難路のバリアフリー化</u> 等
③地域防災力の実効性を高めるための取組	地域の防災情報の充実	・ <u>防災マップ、ハザードマップの作成</u> ・ <u>災害時要援護者の名簿作成</u> 等
	防災訓練の実施	・ <u>消火訓練、避難訓練</u> 等
	防災パトロールの実施	
	防災に関する人材育成	・ <u>地域防災リーダーの育成</u> ・ <u>シンポジウム、戸別訪問等による防災意識の啓発</u> 等
	防災機能の維持管理	・ <u>地域住民による避難場所等の維持管理</u> ・ <u>防災備蓄倉庫の防災備品の管理</u> 等

大阪市は10街区全てでソフト対策を3区分とも実施